

第 27 期 決 算 公 告

2026 年 5 月 31 日

東京都台東区東上野二丁目 16 番 1 号

日立投資顧問株式会社

取締役社長 宮崎 倫明

貸 借 対 照 表

(2026 年 3 月 31 日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	2,185	流 動 負 債	648
現金及び預金	1	未払諸税金	45
未収収益	296	未払金	73
前払費用	45	未払費用	499
関係会社預け金	1,840	預り金	3
その他	1	賞与引当金	26
固 定 資 産	66	固 定 負 債	102
有形固定資産	24	退職給付引当金	86
投資その他の資産	41	資産除去債務	15
繰延税金資産	41	負 債 合 計	751
		(純 資 産 の 部)	
		株 主 資 本	1,500
		資 本 金	100
		資 本 剰 余 金	200
		利 益 剰 余 金	1,200
		利 益 準 備 金	75
		その他利益剰余金	1,125
		繰越利益剰余金	1,125
		純 資 産 合 計	1,500
資 産 合 計	2,251	負 債 ・ 純 資 産 合 計	2,251

(注) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項

計算書類作成のための基本となる事項

(1) 固定資産の減価償却の方法

(i) 有形固定資産

定額法を採用しております。

建物 15年、8年

工具器具備品 15年、10年

(ii) 無形固定資産

定額法を採用しております。

自社利用ソフトウェア 5年

(2) 引当金の計上基準

(i) 賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、支給見込み額のうち、当期の負担額を計上しております。

(ii) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額に基づき、計上しております。

(3) 収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。

(i) 投資助言業務収益

投資助言業務は、投資顧問（助言）契約に基づき、有価証券の価値等または金融商品の価値等の分析に基づく投資判断に関し、顧客のために助言を行う業務です。当該契約については、一定期間にわたり履行義務が充足されると判断し、契約期間を通して収益として認識しております。

(ii) 投資一任業務収益

投資一任業務は、投資一任契約に基づき、金融商品の価値等の分析に基づく投資判断に基づいて顧客の財産を投資運用する業務です。当該契約については、一定期間にわたり履行義務が充足されると判断し、運用期間にわたり収益を認識しております。

(iii) 投信委託者報酬

投信委託者報酬は、投資信託の運営・管理を行い、投資信託の信託約款に基づき日々の純資産総額に対する一定割合として認識されます。当該契約については、一定期間にわたり履行義務が充足されると判断し、運用期間にわたり収益を認識しております。

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

(i) 消費税等の処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理については税抜方式によっております。

(ii) グループ通算制度を適用

当社は、グループ通算制度を適用しており、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号2021年8月12日）に従って、法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理並びに開示を行っております。

2. 当期純損益金額

当期純利益 : 120 百万円

以上